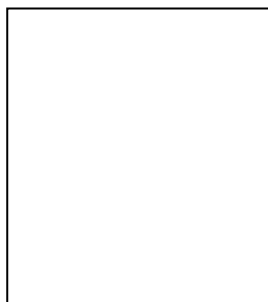


▽ 徳永賢治 教授 TOKUNAGA, kenji



学 科： 地域行政学科

担当科目： 法哲学、法思想史、演習、基礎演習

学歴等のプロフィール【Eメール・ホームページ等】

- ①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- ① 関西学院大学法学部卒業、関西学院大学法学研究科基礎法学専攻博士課程退学
 ② 法学修士
 ③ 日本法哲学学会、日本法社会学会、沖縄法政学会

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例		
1) 基礎演習 I	2010年4月～2011年3月	2010年度、通年、法律学科一年次生、演習、4単位、一年次生必修科目
2) 基礎演習 II	2010年4月～2011年3月	2010年度、通年、地域行政学科二年次生、演習、4単位、二年次生必修科目
3) 専門演習 I・II	2010年4月～2011年3月	2010年度、通年、法律学科三・四年次生、演習、4単位、三・四年次生必修科目
4) 法思想史	2010年4月～2010年9月	2010年度、前期、法学部一年次生、講義、4単位、一年次生選択科目
5) 法哲学	2010年10月～2011年3月	2010年度、後期法学部三・四年次生、講義、4単位、三・四年次生選択科目

<p>2. 作成した教科書、教材、参考書</p>		
<p>1) 基礎演習 I</p>	<p>2010年4月～2011年3月</p>	<p>ゼミでは、有泉編『法学（第4版）』有斐閣のプリント教材を中心として、法学全般にわたる基礎的知識・考え方の習得をめざして勉強した。ゼミ生は、予め配布した報告計画表に基づいて、各人が担当箇所を報告し、その報告に対して全員で質疑応答を行った。</p> <p>1年次対象のゼミなので、質問に対しては丁寧に解答するように心がけた。</p>
<p>2) 基礎演習 II</p>	<p>2010年4月～2011年3月</p>	<p>事前に配布したプリント教材のなかから担当の学生が特定のテーマについて報告し、その報告に対して全員で質疑応答を行った。時々予定よりも早く報告が終了した場合、地方公務員試験2級程度の問題や内外の法律ニュースのコピーを配布し解説したこともある。</p>
<p>3) 専門演習 III・IV</p>	<p>2010年4月～2011年3月</p>	<p>予め配布しておいた報告テーマ一覧表のなかから、学生が自分で興味をもつテーマを選択して、それを担当学生がゼミで報告する。その報告に対し、全員で質疑応答した。ときどき、時事問題に関する英文の法律記事をコピーして配り、ゼミのテーマに幅をもたせる工夫をした。</p>
<p>4) 法思想史</p>	<p>2010年4月～2010年9月</p>	<p>プリント教材を昨年よりも増やして、配布した。しかし、配布した教材の枚数に比べて学生は、昨年よりも勉強したかとなると心もとない。「テストに出る箇所だけ教えて下さい」と主張するがかなりいる。そこで、出席を重視し、PPTを使って講義を進める工夫をした。講義は、PPTだけでも上手くいかないし、プリント教材だけでも上手くいかない。</p>

5) 法哲学	2010年4月～2011年3月	<p>反省事項としては、プリント教材は多くても少なくてもダメだと言うことである。年度によって、配布すべき適切なプリント枚数は、微妙に異なるようである。</p> <p>毎時間 20 頁前後のプリントを配布した。しかし、配布したプリントの量の割には、テスト結果から見ると、受講生は勉強していなかった。「哲学」は自分の頭の中で、自分の言葉で教えることが大切である。</p> <p>2010年度の「法哲学」講義は、あれもこれもと少し欲張り過ぎたため、結果として、未消化に終わったのではないかと反省している。</p>
--------	-----------------	---

研究業績等

【主要論文及び主要著書】

- 「多元的法体制論からみたシマの一考察」(『沖縄法学論叢』第3集、2010年)
- 「多元的法体制再考」(『沖縄法政研究』第5号、2003年)
- 「結合双生児の分離手術をめぐる法哲学的諸問題」(『沖縄法学』第38号 2009年)
- 「法言語と規範論理」(『沖縄法学』第37号、2008年)
- 「リアリズム法学の一考察」(『沖縄法学』第36号、2007年)
- 「信仰と生命」(『沖縄法学』第35号、2006年)

【共著】

萩野芳夫他『法学と憲法』法律文化社 1981年

研究分野

多元的法体制論、比較法思想史

【Eメール・ホームページ等】

tokunaga@okiu.ac.jp

平成23年8月30日現在